

DRUG

INFORMATION



2006 No. 15

平成18年9月8日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について.....1
ー平成18年9月7日薬事委員会結果報告ー
2. 新規院内処方医薬品添付文書情報.....5
3. メイアクト錠100の製剤変更について.....11
4. 注射用プロスタンディン20の製剤変更について.....12

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・中止・変更について

ー平成 18 年 9 月 7 日薬事委員会結果報告ー

新規院内試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
クレストール錠(ロスバスタチンカルシウム)	2.5mg/錠	HMG-CoA 還元酵素阻害剤	塩野義
バイアスピリン錠(アスピリン)	100mg/錠	抗血小板剤	バイエル
ベシケア錠(コハク酸ソリフェナシン)	2.5mg/錠	過活動膀胱治療剤	アステラス
ポリフル細粒(ポリカルボフィルカルシウム)	1,000mg/1.2g/包	過敏性腸症候群治療剤	アボット
ムコダイン DS(L-カルボシステイン)	333mg/g	気道粘液調整・粘膜正常化剤	杏林
フルタイド 100 ディスカス(プロピオン酸フルチカゾン)	60 プリスター/個	吸入ステロイド喘息治療剤	GSK
ルリコン液(ルリコナゾール)	〔1%〕 10mL/本	抗真菌剤	科薬
アムビゾーム点滴静注用(アムホテリシン B)	50mg/V	ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤	大日本住友
オプチレイ 320 シリンジ(イオバルソール)	100mL/筒	非イオン性造影剤	タイコ
カイトリル点滴静注用バッグ(塩酸グラニセトロン)	3mg/100mL/袋	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤	中外
注射用 GHRP 科研(塩酸プララルモレリン)	100μg/V	成長ホルモン分泌不全症診断薬	科研
ビーフリード点滴静注用	500mL/袋	ビタミン B ₁ ・糖・電解質・アミノ酸液	大塚
ヒューマログミックス 25 注キット(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/キット	抗糖尿病剤	イーライリリー
マグセント注(硫酸マグネシウム、ブドウ糖)	100mL/V	切迫早産における子宮収縮抑制剤	東亜
ロイスタチン注(クラドリビン)	8mg/8mL/V	抗悪性腫瘍剤	ヤンセン

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アベロックス錠(塩酸モキシフロキサシン)	400mg/錠	ニューキノロン系経口抗菌剤	塩野義
オキシコンチン錠(塩酸オキシコドン)	40mg/錠	持続性癌疼痛治療剤	塩野義
セイブル錠(ミグリトール)	50mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	三和化学
タケプロン OD 錠(ランソプラゾール)	30mg/錠	プロトンポンプ阻害剤	武田
ネオーラル内用液(シクロスポリン)	5g/50mL/本	免疫抑制剤	ノバルティス
ユリーフカプセル(シロドシン)	4mg/Cp	選択的 α _{1A} 遮断薬	キッセイ
ブロメライン軟膏(ブロメライン)	〔5 万プロテリン単位/g〕 20g/本	壊死組織除去剤	マルホ
大塚生食注(生理食塩液)	250mL/袋	生理食塩液	大塚
ザイボックス注射液(リネズリド)	600mg/袋	オキサゾリジノン系合成抗菌剤	ファイザー
ドブポン注シリンジ(塩酸ドブタミン)	〔0.3%〕 150mg/50mL/本	急性循環不全改善剤	協和醗酵
ペガシス皮下注(ペグインターフェロン アルファ-2a)	90μg/1mL/V	インターフェロン製剤	中外
ミノフィット注シリンジ(合剤)	40mL/本	肝臓疾患用剤・アレルギー用薬	テルモ

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アコレート錠(ザフィルルカスト)	40mg/錠	気管支喘息治療剤	アストラゼネカ
ツムラ消風散エキス顆粒	2.5g/包	漢方製剤	ツムラ
プリンペランシロップ(塩酸メクロプラミド)	1mg/mL	消化器機能異常治療剤	アステラス
ムコダイン細粒(L-カルボシステイン)	500mg/g	気道粘液調整・粘膜正常化剤	杏林
インテパン外用液(インドメタシン)	[1%] 50mL/本	経皮鎮痛消炎剤	大日本住友
サンピロ点眼液(塩酸ピロカルピン)	[0.5%] 5mL/本	緑内障治療点眼剤	参天
ソルコセリル軟膏(幼牛血液抽出物)	[5%] 500g/個	組織修復促進剤	大鵬
ヒビテン液(グルコン酸クロルヘキシジン)	[5%] 500mL/本	殺菌消毒剤	大日本住友
アミノフリード	500mL/袋	糖・電解質・アミノ酸液	大塚
注射用サンラビン(エノシタビン)	250mg/V	抗悪性腫瘍剤	旭化成
トラマール注(塩酸トラマドール)	100mg/2mL/A	鎮痛剤	日本新薬
ファンギゾン(アムホテリシン B)	50mg/V	ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤	ブリストル
プロスコープ 370(イオプロミド)	100mL/V	非イオン性尿路・血管造影剤	田辺

※院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院外採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エパデール S(イコサペント酸エチル)	900mg/包	高脂血症用剤	持田
エプジコム錠(ラミブジン、硫酸アバカビル)	合剤	抗ウイルス化学療法剤	GSK
ジルテックドライシロップ(塩酸セチリジン)	12.5mg/g	アレルギー性疾患治療剤	GSK
デトルシールカプセル(酒石酸トルテロジン)	2mg、4mg/Cp	過活動膀胱治療剤	ファイザー
ノービア・ソフトカプセル(リトナビル)	100mg/Cp	抗ウイルス化学療法剤	アボット
パルギン錠(エチゾラム)	0.5mg/錠	精神安定剤	三共
フェマーラ錠(レトロゾール)	2.5mg/錠	閉経後乳癌治療剤	ノバルティス
プロマック D 錠(ポラプレジンク)	75mg/錠	亜鉛含有胃潰瘍治療剤	ゼリア
ベシケア錠(コハク酸ソリフェナシン)	2.5mg、5mg/錠	過活動膀胱治療剤	アステラス
メインテート錠(フマル酸ビソプロロール)	2.5mg/錠	選択的 β_1 アンタゴニスト	田辺
ユリーフカプセル(シロドシン)	2mg/Cp	選択的 α_{1A} 遮断薬	キッセイ
レイアタツツカプセル(硫酸アタザナビル)	150mg/Cp	HIV プロテアーゼ阻害剤	ブリストル
フルナーゼ点鼻液(プロピオン酸フルチカゾン)	8mL/本 (50 μ g噴霧、56噴霧用)	定量噴霧式鼻過敏症治療剤	GSK
ボンアルファハイローション(タカルシトール)	[0.002%] 10g/本	活性型 VD_3 尋常性乾癬治療剤	帝人
ロキソニンパップ(ロキソプロフェンナトリウム)	100mg/枚 (7枚/袋)	経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤	三共

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
メiakト錠 ⇒ meiakト MS 錠 (セフジレンピボキシル)	100mg/錠 (カゼイン無添加製剤に変更)	セフェム系抗生物質製剤	明治
セレベント 50 ロタディスク ⇒ 同ディスク (キシナホ酸サルメテロール)	4 フリスター/枚 ⇒ 60 フリスター/個	長時間作動型吸入気管支拡張剤	GSK
フルタイド 200 ロタディスク ⇒ 同ディスク (プロピオン酸フルチカゾン)	4 フリスター/枚 ⇒ 60 フリスター/個	吸入ステロイド喘息治療剤	GSK
ヒュメゴン(下垂体性性腺刺激ホルモン)	150 国際単位/A ⇒ 75 国際単位/A	下垂体性性腺刺激ホルモン製剤	オルガノン
注射用プロスタンディン (アルプロスタジルアルファデクス)	20μg/A ⇒ 20μg/V	プロスタグランジン E ₁ 製剤	小野

※旧製剤の院内在庫がなくなり次第、処方変更とします。

名称変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
フェンタネスト注射液 ⇒ フェンタニル注射液 (クエン酸フェンタニル)	0.1mg/2mL/A	非アルカロイド系麻薬	三共

※10 月以降供給可能になり次第、処方変更とします。

規制区分変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ケタラール筋注用(塩酸ケタミン)	500mg/10mL/V	全身麻酔剤	三共

※平成 19 年 1 月 1 日より麻薬指定となります。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ノレプタン錠(塩酸ホミノベン)	80mg/錠★	鎮咳剤	ベーリンガー
パラメゾン錠(酢酸パラメタゾン)	2mg/錠※	合成副腎皮質ホルモン剤	田辺
エクラーテープ(プロピオン酸デプロドン)	7.5×10cm/枚★	外用副腎皮質ホルモン剤	久光
モビラート軟膏(合剤)	25g [☆] 、50g [★] /本	経皮複合消炎剤	マルホ
モビラートゲル(合剤)	25g [★] 、50g [★] /本	経皮複合消炎剤	マルホ
ビオガンマ注射用(インターフェロンγ-1a)	200 万単位/V [☆]	インターフェロン製剤	マルホ

【院内処方】 ☆:院内在庫がなくなり次第、処方中止とします。

【院外処方】 ※:平成 19 年 3 月 31 日付で処方中止とします。 ☆★:経過措置期間決定後、期間終了日で処方中止とします。

＊ロスバスタチンカルシウム

Rosuvastatin Calcium

【商】クレストール Crestor 塩野義

内用：錠剤 1錠中 2.5mg [87.3 円/錠]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、肝機能が低下していると考えられる以下のような患者〔急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸〕、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦、シクロスポリンを投与中の患者 腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に本剤とフィブラート系薬剤を併用する場合には治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用すること

【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症

【用】1日1回 2.5mg より投与を開始するが、早期に LDL-コレステロール値を低下させる必要がある場合には 5mg より投与を開始してもよい。投与開始後あるいは増量後、4 週以降に LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には、漸次 10mg まで増量できる。10mg を投与しても LDL-コレステロール値の低下が十分でない、家族性高コレステロール血症患者等の重症患者に限り、更に増量できるが、1日最大 20mg までとする。

【副】横紋筋融解症、ミオパシー、肝炎、肝機能障害、黄疸、過敏症状 痒痒症、発疹、蕁麻疹、腹痛、便秘、嘔気、腓炎、筋肉痛、無力症、CK 上昇、頭痛、浮動性めまい、蛋白尿、AST・ALT 上昇

【妊】未確立、禁忌 【授】禁忌

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊アスピリン Aspirin

【商】バイアスピリン Bayaspirin バイエル

内用：錠剤 1錠中 100mg [後 6.4 円/錠]

【禁】本剤の成分又はサリチル酸系製剤に対し過敏症の既往歴のある患者、消化性潰瘍のある患者、出血傾向のある患者、重篤な血液の異常のある患者、アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者、出産予定日 12 週以内の妊婦、低出生体重児、新生児、乳児

【効】①下記疾患における血栓・塞栓形成の抑制：狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(TIA、脳梗塞) ②冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後における血栓・塞栓形成の抑制 ③川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む)

【用】①②1日1回 100mg を投与する。1回 300mg まで増量できる。③急性期有熱期間は、1日 30～50mg/kg を 3 回に分けて投与する。解熱後の回復期から慢性期は、1日 3～5mg/kg を 1 回投与する。

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、脳出血、肺出血、消化管出血、鼻出血、眼底出血、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、剥脱性皮膚炎、再生不良性貧血、血小板・白血球減少、喘息発作、肝機能障害、黄疸、消化性潰瘍、小腸・大腸潰瘍 胃腸障害、嘔吐、腹痛、胸やけ、便秘、下痢、食道炎、口唇腫脹、吐血、吐き気、悪心、食欲不振、胃部不快感、蕁麻疹、発疹、浮腫、貧血、血小板機能低下、痒痒、皮疹、膨疹、発汗、めまい、興奮、頭痛、AST・ALT 上昇、腎障害、血圧低下、血管炎、心窩部痛、気管支炎、鼻炎、角膜炎、結膜炎、耳鳴、難聴、過呼吸、代謝性アシドーシス、倦怠感、低血糖

【妊】予定日 12 週以内：禁忌、予定日 12 週まで：有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳】禁忌

【幼・小*】慎重 〈15 歳未満の水痘・インフルエンザ患者〉原則禁忌、投与する場合は慎重

＊コハク酸ソリフェナシン Solifenacin Succinate

【商】ベシケア Vesicare アステラス

内用：錠剤 1錠中 2.5mg [119.7 円/錠]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、尿閉を有する患者、閉塞隅角緑内障の患者、幽門部・十二指腸又は腸管が閉塞している患者及び麻痺性イレウスのある患者、胃アトニー又は腸アトニーのある患者、重症筋無力症の患者、重篤な心疾患の患者、重度の肝機能障害患者(Child-Pugh 分類 C)

【効】過活動膀胱における尿意切迫感・頻尿及

び切迫性尿失禁

【用】5mg を1日1回投与する。1日最高投与量は10mg までとする。

【副】肝機能障害 尿閉★ 急性緑内障発作★ 麻痺性イレウス★ 幻覚・譫妄★ QT 延長★ 心室性頻拍★ 房室ブロック★ 徐脈★ 白血球数増多・減少、血小板数増多・減少、狭心症、上室性期外収縮、心室性期外収縮、回転性めまい、霧視、調節障害、乾性角結膜炎、視力低下、口内乾燥、便秘、腹部不快感、腹部膨満、腹痛、下腹部痛、上腹部痛、下痢、消化不良、硬便、胃炎、萎縮性胃炎、舌炎、悪心、胃不快感、口内炎、舌変色、胸部不快感、胸痛、倦怠感、発熱、膀胱炎、尿路感染、気管支炎、鼻咽頭炎、上気道感染、CK・尿酸・総コレステロール・K 上昇、尿糖陽性、関節痛、背部痛、側腹部痛、浮動性めまい、味覚異常、頭痛、傾眠、不眠症、排尿困難、膿尿、排尿躊躇、クレアチニン・BUN 上昇、尿蛋白陽性、咳嗽、鼻乾燥、咽頭不快感、皮膚乾燥、湿疹、掻痒症、発疹、蕁麻疹、潮紅、高血圧

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊ポリカルボフィルカルシウム

Polycarbophil Calcium

【商】ポリフル Polyful アボット
内用：細粒剤 1g 中 833mg [35.8 円/g]

【禁】急性腹部疾患(虫垂炎、腸出血、潰瘍性結腸炎等)の患者、術後イレウス等の胃腸閉塞を引き起こすおそれのある患者、高カルシウム血症の患者、腎結石のある患者、腎不全(軽度及び透析中を除く)のある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】過敏性腸症候群における便通異常(下痢、便秘)及び消化器症状

【用】1日 1.5～3g を3回に分け食後に水とともに投与する。

【副】発疹、掻痒感、白血球減少、嘔気・嘔吐、口渇、腹部膨満感、下痢、便秘、腹痛、腹鳴、AST・ALT 上昇、浮腫、頭痛、尿潜血・尿蛋白陽性

【妊】未確立、有益のみ

【小*】未確立

＊L-カルボシステイン L-Carbocysteine

【商】ムコダイン Mucodyne 杏林
内用：ドライシロップ剤 1.5g 中 500mg [30.2 円/g]

【効】〔成人〕○下記疾患の去痰：上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ○慢性副鼻腔炎の排膿

〔小児〕○下記疾患の去痰：上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核 ○慢性副鼻腔炎の排膿 ○滲出性中耳炎の排液

【用】成人に1回 500mg を用時懸濁し、1日3回投与する。幼・小児に1回 10mg/kg を用時懸濁し、1日3回投与する。

【副】Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、肝機能障害、黄疸 食欲不振、下痢、腹痛、悪心、嘔吐、腹部膨満感、口渇、発疹、湿疹、紅斑、浮腫、発熱、呼吸困難、掻痒感

【妊】未確立、回避

＊プロピオン酸フルチカゾン

Fluticasone Propionate

【商】フルタイドディスカス Flutide GSK
外用：吸入剤
1個 60 ブリスター(1ブリスター中 100μg) [2,373.5 円/個]

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 結核性疾患の患者

【効】気管支喘息

【用】成人には1回 100μg を1日2回吸入する。1日の最大投与量は 800μg を限度とする。小児には1回 50μg を1日2回吸入する。1日の最大投与量は 200μg を限度とする。

【副】アナフィラキシー様症状 発疹、蕁麻疹、咽喉頭不快感・むせ・疼痛・刺激感・違和感、口腔・呼吸器カンジダ症、味覚異常、嗄声、咳、口内乾燥、感染症、悪心、腹痛、睡眠障害、鼻炎、胸痛、浮腫、気管支攣縮、高血糖

【妊】有益のみ

【低・新・乳・幼・小】長期・大量投与注意、4歳以下：未確立、注意

＊ルリコナゾール Luliconazole

【商】ルリコン Lulicon 科薬
外用：液剤 1%(10mL) [57 円/mL]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】白癬(足白癬、体部白癬、股部白癬)、カンジダ症(指間びらん症、間擦疹)、癬風

【用】1 日 1 回患部に塗布する。

【副】刺激感、接触皮膚炎、痒痒

【妊】未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

＊アムホテリシン B Amphotericin B

【商】アムビゾーム AmBisome 大日本住友
注射 1 瓶中 50mg [9,958 円/瓶]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、白血球を輸注中の患者

【効】①真菌血症、呼吸器真菌症、真菌髄膜炎、播種性真菌症 ②真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症

【用】①2.5mg/kg を 1 日 1 回、1～2 時間以上かけて点滴静注する。1 日総投与量は 5mg/kg までとする。クリプトコッカス髄膜炎では、1 日総投与量は 6mg/kg まで投与できる。②2.5mg/kg を 1 日 1 回、1～2 時間以上かけて点滴静注する。

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、投与時間関連反応、腎不全、中毒性ネフロパシー、肝不全、黄疸、高ビリルビン血症、血小板減少、心停止、心不全、不整脈、敗血症、肺炎、痙攣、意識障害 Stevens-Johnson 症候群* Lyell 症候群* 無顆粒球症* 肺水腫* クレアチニン・BUN 増加、 β_2 ミクログロブリン増加、尿円柱、尿潜血、尿蛋白、尿中赤血球陽性、尿失禁、尿中白血球陽性、尿量減少、血尿、乏尿、うつ病、幻覚、不眠症、錯乱状態、不安、悪心、嘔吐、下痢・軟便、腹痛、便秘、食欲不振、便失禁、消化管出血、口内炎、舌苔、大腸炎、リパーゼ増加、口内乾燥、消化不良、吐血、膵炎、アレルギー反応、血管神経性浮腫、貧血、血小板・白血球減少、単球増加、好中球・リンパ球減少、好塩基球・好酸球・白血球増加、熱感・潮紅、高血圧、低血圧、静脈炎、点状出血、頻脈、血圧上昇、徐脈、血圧低下、呼吸困難、咳嗽、低酸素症、鼻炎、胸水、鼻出血、頬呼吸、肺水腫、

気管支痙攣、ALP・ALT・AST 増加、 γ -GTP・LDH・ビリルビン増加、胆汁うっ滞、胆嚢炎、肝腫大、結膜炎、網膜炎、背部痛、筋痛、関節痛、頭痛、めまい、異常感覚、痙攣、傾眠、味覚異常、脳症、発熱、悪寒、胸痛、浮腫、疼痛、無力症、注射部紅斑・腫脹・知覚異常、倦怠感、低カリウム血症、低マグネシウム血症、低カルシウム血症、低ナトリウム血症、リン脂質・コレステロール増加、高血糖、高カリウム血症、尿酸・トリグリセリド増加、高クロル血症、高マグネシウム血症、高ナトリウム血症、尿酸減少、低蛋白血症、高カルシウム血症、アミラーゼ増加、コレステロール減少、脱水、低リン酸血症、高リン酸塩血症、アシドーシス、血液量増加症、低クロル血症、発疹、痒痒、紅斑、蕁麻疹、顔面浮腫、多汗、皮膚障害、処置合併症、輸血反応、膿瘍、CRP 増加

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2～8℃

＊イオベルソール Ioversol

【商】オプチレイシリンジ Optiray タイコ
注射：液剤 320(CT・尿路用)

1 筒(100mL)中ヨードとして 32g [13,850 円/筒]

【警】◆ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。◆本剤を脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髓造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者、重篤な甲状腺疾患のある患者一般状態の極度に悪い患者、気管支喘息の患者、重篤な心障害のある患者、重篤な肝障害のある患者、重篤な腎障害(無尿等)のある患者、急性膵炎の患者、マクログロブリン血症の患者、多発性骨髄腫のある患者、テタニーのある患者、褐色細胞腫のある患者及びその疑いのある患者

【効】①コンピューター断層撮影における造影 ②静脈性尿路撮影 ③脳血管撮影 ④大動脈撮影 ⑤選択的血管撮影 ⑥四肢血管撮影 ⑦デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影 ⑧デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影

【用】1 回下記量を使用する。①50～100mL ②40～100mL ③5～15mL ④30～50mL ⑤5～

60mL ⑥10～50mL ⑦3～50mL ⑧30～60mL

【副】ショック(遅発性を含む)、アナフィラキシー様症状(遅発性を含む)、心室細動、冠動脈攣縮、急性腎不全、肺水腫、失神、痙攣発作、麻痺、肝機能障害、黄疸、血小板減少、脳血管障害、Stevens-Johnson 症候群 蕁麻疹、発疹、掻痒感、発赤、潮紅、発汗、血圧低下、徐脈、頻脈、心悸亢進、不整脈、血圧上昇、顔面蒼白、咳、くしゃみ、鼻閉、呼吸困難、嗄声、鼻うっ血、咽・喉頭違和感、喉頭浮腫、喘息発作、頭痛、眠気、耳鳴、めまい、上肢脱力、振戦、失見当識、しびれ感、一過性盲、嘔気、嘔吐、腹痛、BUN・クレアチニン上昇、浮腫・腫脹、胸部痛・絞扼感、悪寒、熱感、味覚・嗅覚異常、発熱、結膜充血、倦怠感

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*塩酸グラニセトロン Granisetron Hydrochloride

【商】カイトリル Kytril 中外
注射：液剤(㉔) 1袋(100mL)中 3mg

[7,469 円/袋]

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】①抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与及び②造血幹細胞移植前処置時の放射線全身照射(TBI)に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)

【用】①成人には40μg/kgを1日1回点滴静注する。症状が改善されない場合には、40μg/kgを1回追加投与できる。小児には40μg/kgを1日1回点滴静注する。症状が改善されない場合には、40μg/kgを1回追加投与できる。②成人には1回40μg/kgを点滴静注する。1日2回投与までとする。

【副】アナフィラキシー様症状 発疹、発赤、頭痛、めまい、不眠、頻脈、便秘、下痢、腹痛、胃もたれ感、AST・ALT 上昇、発熱、全身倦怠感、顔面潮紅

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳中止

【低・新・乳】①未確立 【小*】②未確立

*塩酸プラルモレリン Pralmorelin Hydrochloride

【商】GHRP 科研
注射：1瓶中 100μg [8,427 円/瓶]

【禁】妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】成長ホルモン分泌不全症の診断

【用】投与直前に生理食塩液 10mL で溶解し、4歳以上 18 歳未満では2μg/kg(体重が 50kg を超える場合は 100μg)を、18 歳以上では 100μg を空腹時、緩徐に静注する。

【副】低血圧、ALT 上昇、腹鳴、腹痛、嘔気、胃部不快感、悪心、腹部膨満感、眠気、めまい、鼻汁、白血球増多、好中球比率上昇、リンパ球比率低下、単球・好酸球比率上昇、熱感、発汗、苦味、腰痛、口渇感、ぼーっとした、頭痛、冷汗、顔面潮紅、空腹感、倦怠感、ふらつき

【妊】未確立、禁忌

【授】回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼】4 歳未満：未確立

【貯】10℃以下

【商】ビーフリード Bfluid

大塚

注射：液剤 1 袋 500mL

上室液(150mL)中 L-ロイシン 2.1g、L-イソロイシン 1.2g、L-バリン 1.2g、塩酸 L-リジン 1.965g、L-トレオニン 0.855g、L-トリプトファン 0.3g、L-メチオニン 0.585g、アセチルシステイン 0.202g、L-フェニルアラニン 1.05g、L-チロジン 0.075g、L-アルギニン 1.575g、L-ヒスチジン 0.75g、L-アラニン 1.2g、L-プロリン 0.75g、L-セリン 0.45g、グリシン 0.885g、L-アスパラギン酸 0.15g、L-グルタミン酸 0.15g、リン酸二カリウム 0.501g、リン酸水素ナトリウム 0.771g、クエン酸ナトリウム 0.285g、乳酸ナトリウム 1.145g

下室液(350mL)中ブドウ糖 37.499g、塩化カリウム 0.317g、塩化カルシウム 0.184g、硫酸マグネシウム 0.308g、硫酸亜鉛 0.7mg、塩酸チアミン 0.96mg [602 円/キット]

【禁】肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者、重篤な腎障害のある患者又は高窒素血症の患者、うっ血性心不全のある患者、高度のアシドーシス(高乳酸血症等)のある患者、電解質代謝異常のある患者(高カリウム血症(乏尿、アジソン病等)の患者、高リン血症(副甲状腺機能低下症等)の患者、高マグネシウム血症(甲状腺機能低下症等)の患者、高カルシウム血症の患者)、閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者、アミノ酸代謝異常症の患者、塩酸チアミンに対し過敏症の既往歴のある患者

【効】 下記状態時のアミノ酸・電解質・ビタミン B1 及び水分の補給：経口摂取不十分で軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合、手術前後

【用】 1 回 500mL を末梢静脈内に点滴静注する。投与速度は、500mL 当たり 120 分を基準とし、高齢者、重篤な患者には更に緩徐に注入する。最大投与量は 1 日 2,500mL までとする。

【副】 ショック 発疹、悪心・嘔吐、胸部不快感、動悸、AST・ALT・ALP・総ビリルビン上昇、脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫、高カリウム血症、水中毒、アシドーシス、血管痛、静脈炎、悪寒、発熱、熱感、頭痛

【妊】 未確立、有益のみ

【授】 未確立、回避、投与する場合は授乳回避

【小*】 未確立

【貯】 遮光

*インスリンリスプロ Insulin Lispro

【商】 ヒューマログミックス 25 キット

Humalog Mix 25 イーライリリー

注射：懸濁剤^㉔

1 筒(3mL)中 300 単位(25%インスリンリスプロ＋75%中間型インスリンリスプロ)

[1,988 円/キット]

【禁】 低血糖症状を呈している患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】 インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】 1 回 4～20 単位を 1 日 2 回、朝食直前と夕食直前に皮下注する。1 日 1 回投与の時は朝食直前に皮下注する。維持量は 1 日 4～80 単位である。

【副】 低血糖、アナフィラキシーショック、血管神経性浮腫 アレルギー、発疹、瘙痒感、蕁麻疹、高血糖、血糖値上昇、治療後神経障害、糖尿病網膜症の顕在化・増悪、屈折異常、注射部腫脹・瘙痒感・疼痛・硬結・発赤・リポデストロフィー、肝機能異常、浮腫

【妊】 未確立、注意 【授】 注意

【小*】 未確立

【貯】 遮光、2～8℃

【商】 マグセント Magsent 東亜

注射：液剤 1 本(100mL)中硫酸マグネシウム 10g、ブドウ糖 10g [2,250 円/瓶]

【警】 ◆本剤の投与により高マグネシウム血症が起こり、マグネシウム中毒(血圧低下、中枢神経抑制、心機能抑制、呼吸麻痺等)が惹起されることがあるため、投与中は、慎重な観察(膝蓋腱反射、呼吸数の変動の確認あるいは血中マグネシウム濃度の測定等)を行うこと。◆本剤を投与する場合には、出産にあたって新生児に対する気管内挿管を含む必要十分な蘇生を実施できる体制等、新生児及び母体を含めた適切な周産期管理が可能な体制を確保すること。

【禁】 重症筋無力症の患者、心ブロックの既往歴のある患者、低張性脱水症の患者

【効】 切迫早産における子宮収縮の抑制

【用】 初回量として、40mL を 20 分以上かけて静注した後、10mL/時より持続静注を行う。子宮収縮が抑制されない場合は 5mL/時ずつ増量し、最大投与量は 20mL/時までとする。子宮収縮抑制後は漸次減量し、子宮収縮の再発がみられないことが確認された場合には中止する。本剤は持続注入ポンプを用いて投与すること。

【副】 マグネシウム中毒、心(肺)停止、呼吸停止、呼吸不全、横紋筋融解症、肺水腫、イレウス 鼻出血、凝血異常、呼吸困難、潮紅、心悸亢進、不整脈、胸痛、うっ血性心不全、口渇、嘔気、嘔吐、食欲不振、下痢、AST・ALT 上昇、肝不全、急性腎不全、熱感、倦怠感、無力症、頭痛、視力異常、調節障害、複視、反射減退、知覚減退、意識障害、低カルシウム血症、高マグネシウム血症、高カリウム血症、電解質異常、中毒疹、血管痛、乳房うっ滞、乳汁漏出、外陰浮腫、尿崩症、乏尿、踵骨骨折

【妊】 注意

*クラドリビン Cladribine

【商】 ロイスタチン Leustatin ヤンセン

注射：液剤^㉔ 1 瓶(8mL)中 8mg [88,039 円/瓶]

【警】 ◆本剤の投与は、緊急時に十分に措置できる医療施設及び癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。◆骨髄抑制により感染症等の重篤な副作用が発現又は増悪することがあるので、頻回に臨床検査(血液検査、腎機能・肝機能検査等)を行う等、患者の状態を十分に観察すること。◆遷延性のリンパ球減少により、重症の免疫不全が増悪又は発現す

ることがあるので、頻回に臨床検査(血液検査等)を行う等、免疫不全の兆候について綿密な検査を行うこと。◆まれに重篤な神経毒性が報告されている。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】①ヘアリーセル白血病 ②再発・再燃又は治療抵抗性の下記疾患：低悪性度又は濾胞性B細胞性非ホジキンリンパ腫、マントル細胞リンパ腫

【用】①1日0.09mg/kgの7日間持続点滴静注を1コースとする。②1日0.09mg/kgを7日間持続点滴静注し、3～5週間休薬する。これを1コースとし、投与を繰り返す。

【副】骨髓抑制、敗血症、肺炎、消化管出血、重篤な神経毒性、腫瘍崩壊症候群、間質性肺炎、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群 発疹、多形滲出性紅斑、瘙痒、疼痛、紅斑、蕁麻疹、関節痛、筋肉痛、筋脱力、緊張亢進、頭痛、肩こり、末梢神経障害、めまい、不眠、不安、傾眠、失調、神経障害、飛蚊症、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、口内炎、食欲不振、便秘、鼓腸放屁、AST・ALT・ALP 上昇、ウロビリノーゲン陽性、 γ -GTP・LDH 上昇、ビリルビン上昇、K・Ca 上昇、K・Ca・Na 低下、Cl 上昇、頻脈、不整脈、血圧上昇、心電図異常、心雑音、呼吸困難、胸部X線像異常、 PaO_2 ・ PaCO_2 低下、呼吸音異常、咳嗽、胸音異常、息切れ、好酸球増多、IgA・IgG・IgM 減少、ヘマトクリット値増加、好酸球減少、好塩基球・単球増多、IgG 増加、HLA-DR 陽性細胞増加、血小板増加、溶血性貧血、凝固異常、蛋白尿、血尿、尿沈渣異常、頻尿、尿糖、BUN 上昇・低下、クレアチニン上昇、注射部疼痛、注射部静脈炎・瘙痒感・発赤、注射部腫脹・血栓、体重減少、発熱、総蛋白減少、アルブミン低下、感染症、倦怠感、体重増加、季肋部疼痛、悪寒、無力症、発汗、体幹痛、疲労感、浮腫、CRP 上昇

【妊】禁忌

【授】未確立、回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2～8℃、遮光

メリアクト錠 100 の製剤変更について

セフェム系抗生物質製剤「メリアクト錠 100」ですが、販売名が「メリアクト MS 錠 100mg」に変更となります。添加物として含有していたカゼインナトリウムがなくなり、牛乳アレルギー患者への投与禁忌がなくなります。これに伴い、製剤の形状が変更になります。

新製剤への移行は 9 月 8 日からとします。なお、オーダ名称の変更に伴い、Do 処方ができなくなるため、薬剤の処方時は再度薬品名の入力からお願いします。詳細につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）へご連絡下さい。

	旧製剤	新製剤
名称	メリアクト錠 100	メリアクト MS 錠 100mg
形状		
禁忌	本剤の成分によるショックの既往歴のある患者、 <u>牛乳に対しアレルギーのある患者</u>	本剤の成分によるショックの既往歴のある患者

注射用プロスタンディン 20 の製剤変更について

プロスタグランジン E₁ 製剤「注射用プロスタンディン 20」ですが、医療事故防止のため、アンプル製剤からバイアル製剤に変更となります。

新製剤への移行は、旧製剤の在庫がなくなり次第とします。詳細につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室（内線 7083）へご連絡下さい。

	旧製剤	新製剤
	アンプル製剤	バイアル製剤
形状		